

# 平成 28 年度研究プロジェクト研究活動報告

研究種別	■ 共同研究 3	公益目的事業 11
主査名	堀田一吉 ・ 慶應義塾大学商学部 教授	
研究テーマ	ビッグデータ時代と自動車保険	
<b>研究の目的：</b> <p>現在、ビッグデータに対するアプローチは様々な分野で進んでいるが、自動運転技術の急速な進展とともに、自動車保険事業に及ぼす影響は大きい。近年、保険業界では、保険と IT（情報技術）を融合した「インステック」という用語がつかわれ、損害保険業のみならず、生命保険業の分野において、様々な研究が始められている。ビッグデータ技術の進展が保険業に及ぼす影響について、自動車保険を中心に、長期的な計画を立てて、理論的考察を試みる。</p>		
<b>研究の経過（4月～9月）：</b> <p>初年度としての本年度は、ビッグデータおよび人工知能（AI）にかかわる先端技術の現状と、その応用分野について、情報産業の専門家（NEC ビッグデータ部門）を招いて、研究会を 2 回開催した。それらを参考に、ビッグデータ技術の自動車保険ならびに保険業への応用可能性について、考察すべき論点の整理を進めている。自動車保険分野においては、テレマティクス保険のほかに、自動運転技術との関係性など、複雑な問題が生じつつある。他方で、ビッグデータの活用により、他の産業との連携を含めた新たなビジネスモデルが生み出される動きが見られている。そうした展開は、保険を本質的に変える可能性もあり、今後一層、理論的かつ実証的な考察が重要になってくると思われる。</p>		
<b>下期へ向けて（課題等）：</b> <p>メンバーの問題意識を共有するために、引き続き、専門分野の研究者を講師に招いて、研究会を 2～3 回開催する予定である。</p>		
<b>研究メンバー（敬称略）：</b> <p>堀田一吉（主査・慶應義塾大学）甘利公人（上智大学）江澤雅彦（早稲田大学）大坪護（日本損害保険協会）加瀬幸喜（大東文化大学）木村宇一郎（自研センター）北村憲康（東京海上日動リスクコンサルティング）竹井直樹（日本損害保険協会）福田弥夫（日本大学）山野嘉朗（愛知学院大学）</p>		